



2023年 ワクチン接種事業について(子宮頸がん・新型コロナ)

決算特別委員会 質疑

子宮頸がんワクチン接種事業 約3000万円

新型コロナワクチン接種事業 約39億3000万円

健康被害で苦しむ女性たちを置き去りにした事業

子宮頸がんワクチンの対象は、12～16歳の女子児童・生徒。接種後に重い副作用が相次いで報告されたため、国は一旦接種の呼びかけを控えていたにもかかわらず、薬剤も治療法も改善なきまま2022年4月から接種の積極的勧奨を再開。予算を組んで接種を勧奨した自治体も責任重大です。わずか数ミリの薬剤で若者の人生を変えてしまいました。苦しむ健康被害にしっかりと寄り添う相談体制・医療体制を強く求めます。

新型コロナワクチン接種事業は3年間で約306億円

現在、福岡市で副反応報告としてわかっているだけで死亡者は17件、重篤患者は81件。副反応報告以外でも、健康被害救済制度への申請をされています。今後これ以上に苦しむ人がいないよう祈るばかりです。

ワクチン接種券に同封されなかった「ワクチン説明書」157万通

福岡市では接種券を送る時に「ワクチン説明書」(ワクチンについての注意事項など)が同封されなかった。ワクチンについての情報を市民に分かりやすく伝えなかったことは、市の事業として大問題です。全ての書類の事前説明では、「ワクチン説明書」は同封したかの説明でした。市民への謝罪を求めています。

どちらの接種事業も立ち止まるべき!

まずは健康被害の救済、後遺症の改善に力を注ぎ、市民の健康を重視すべきです。

ワクチン接種後、体調不良が続く方は、健康被害救済制度への申請をご検討ください。申請経験者によるアドバイスもあります。※申請は接種した自治体で行います。窓口は各区の健康課(東区092-645-1078)

税の勉強会 & 市政懇談会 11月6日(水)千早公民館

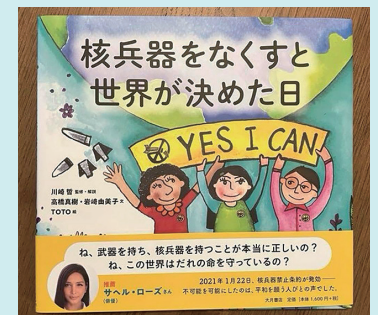


今回は、税理士の小長光さんをゲストに、消費税やインボイス制度、103万円の壁の話など、身近な税の話題をわかりやすくお話しいただきました。参加者からは、「税の話は、今さら人に聞けないことばかりで、よかったです。また森さんからのお話で、市議会のお仕事が垣間見えて勉強になりました。グリーンインフラに関しては大賛成です」との声もありました。市民のための議会です。みなさんの暮らしの声を議会に届けるために、各地域の公民館を回って「市政懇談会」をしています。ご要望をいただけたら、どこでも開催いたします。

大好評! 映画「ガイアシンフォニー(地球交響曲)」視聴会を随時開催中

次世代につなぐ地球環境のことを一緒に考えましょう。詳細などお気軽にお問合せください。

森あやこのおすすめ本



核兵器をなくすと世界が決めた日
1,760円 大月書店

世界が注目する「核兵器条約」の誕生を描いた初めての絵本です。

生活って政治!

カンパとボランティアで、暮らしの声を政治に届ける運動を30年以上続けてきました。「暮らしのための議会」を実現するため、みなさんのご意見や想いを聞かせてください。



市民ネットワーク福岡

〒813-0044 福岡市東区千早5-17-18 TKビル2号館
Tel: 092-662-5077 | Fax: 092-662-5097
E-mail: fukuokahigashinet@gmail.com



活動をサポートしてください。
年会費は1,000円です。

森あやこ公式ブログ(活動日誌)
<http://ayako966.blog.fc2.com>

